

2022年8月17日
株式会社 トーカイ
(東証プライム:9729)

豊田通商株式会社とインドに合弁会社を設立 ～インド・ベンガルールから日本式医療周辺サービスの拡大を目指す～

株式会社トーカイ（本社：岐阜県岐阜市、代表取締役社長：小野木孝二、以下、「当社」という）は、豊田通商株式会社（以下、「豊田通商」という）との間で、南インドのカルナタカ州ベンガルールにリネンサプライなどの医療周辺サービスを行う合弁会社を設立することについて合意に達し、本日、両社で合弁契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

当社は現在、2025年3月期を最終年度とする中期経営計画「Challenge for the new stage!」のもと、持続的な成長の実現に向け、次世代につながる新たな価値の創出に取り組んでおります。

創業以来、日本国内において医療と介護に関わる事業を幅広く展開しておりますが、グローバル市場への進出も必要であるとの認識のもと、近年は、日本で培った医療周辺サービスに関する知見を基にした海外での事業展開の可能性を模索してまいりました。

その一環として、2017年にインドで病院清掃事業を展開する現地法人 Adityavani Facility Services Private Limited 社（以下、「AVFS社」という）へ出資し、インド国内において高い感染管理技術や日本式のホスピタリティを採り入れた病院清掃サービスの浸透・普及に向けた技術指導を継続しております。

一方、豊田通商は1998年に現地法人を設立してインド市場へ参入し、ヘルスケア事業においては2014年に日系企業等（セコム医療システム株式会社および現地企業）との共同出資により、総合病院 SAKRA World Hospital を開設するなど、インド国内におけるヘルスケアサービスの拡大にも注力しております。

SAKRA World Hospital の清掃業務を担う AVFS 社への技術指導を通じ、豊田通商とともにインドでの日本式の医療周辺サービスの浸透に挑戦を続けてきたなかで、高い成長を続けるインドヘルスケア市場においてはさらなる高付加価値のサービスの提供が求められており、当社事業の中核をなすリネンサプライサービスの需要も確実に高まっていることを実感しております。

こうしたなかで、インドでの高い事業実績を有する豊田通商との間で、インドでの医療周辺サービスを行う合弁会社設立について検討を行い、今般の合意に至りました。今後両社では、AVFS社など現地法人とのパートナーシップをベースに南インドの病院市場における新しいリネンサプライモデルを構築するところから医療周辺サービスにかかる広い事業機会の獲得を目指してまいります。

本合弁会社設立を通じて、当社は、医療周辺サービスの新たな事業展開への挑戦を行い、これを今後の持続的な成長につなげるとともに、インドにおける清潔と健康、安心・安全な医療の提供支援を図り、持続可能な社会の発展の一助となるよう尽力してまいります。

<合弁会社の概要>

- 1) 名 称：VALABHI HOSPITAL SERVICES PRIVATE LIMITED
- 2) 所 在 地：インド共和国カルナタカ州ベンガルール市
- 3) 設 立：2022年9月（予定）
- 4) 事業内容：リネン・医療資機材リース
- 5) 出資比率：豊田通商株式会社 55%、株式会社トーカイ 45%

<合弁相手先の概要>

- 1) 名 称：豊田通商株式会社
- 2) 所 在 地：名古屋市中村区名駅四丁目9番8号
- 3) 設 立：1948年7月
- 4) 代 表 者：取締役社長 貸谷 伊知郎
- 5) 事業内容：各種物品の国内取引、輸出入取引、外国間取引、建設工事請負、
各種保険代理業務 等

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社トーカイ
経営企画本部 経営企画部 経営企画・IR課
TEL:058-263-5111

以上